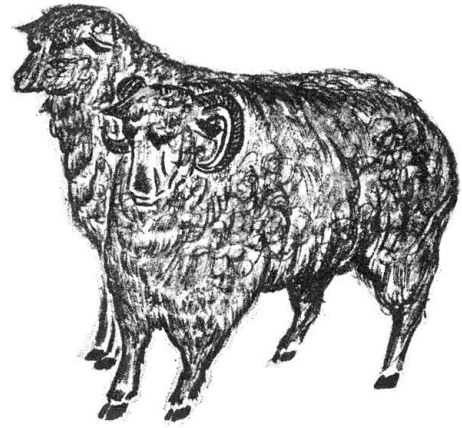




毎月十五日発行 発行所 宗像大社 福岡県宗像郡玄海町 電話 09406 ①1311代 定価 一年送料共 1000円

# 新年賀辞



二月十一日には 国旗を揚げ 建国記念日を 祝いましょう

正賀 宗像会員諸賢の御清栄を遠かに祈り申し上げます 昭和五十四年元旦 「宗像」編集部 宗像会

## 新春のことば

宗像大社 宮司 葦津嘉之



昭和五十四年の新しい年を迎えるにあり、皇室の御先遣として、宗像大社は皇室の御先遣として、まず天照大神の御神代として、国家の安否を皇室の御守護をお祈りする。その神事の一つとして、毎年氏子達が昇春の玄鳥舞、寒風吹き、伝えて来伝道徳を祈願しよう

## 論説 国を守る心

愛国心と言へば、軍事という危険な事柄を結ぶつて考へる。軍人精神は武器を執つて戦い、国民の生命を犠牲にする心はな

交通安全宗像大社の御神徳をたたえ奉りて 謹んで新年の御祝詞を申し上げます

愛される車をめざして TOYOTA 福岡のトヨタグループ

# 年頭のご挨拶

宗像大社氏子会長 中村清之



昭和五十四年の新春を迎へ、我が皇室の弥栄と、宗像大社の神徳益々発揚を願ひ、氏子の皆様の御健康を祈ります。

の人達ではあるが国旗と国歌が軍国主義に通じると言及しては、国歌阿世の連呼である。又靖国神社國家護持の問題は、過去の教訓の事は立派な事でありませう。本年は特に教育の正常化、努力を以て、国民は健全な精神を養ひ、頭を擡げ上げて下さい。

## 謹んで新年の御祝詞を申し上げます

昭和五十四年元旦

宗像大社責任役員会  
宗像大社氏子総代会  
宗像大社中両宮奉賛会

- |            |            |
|------------|------------|
| 宗像大社責任役員会  | 代表役員 藤津 嘉之 |
| 責任役員 出光 佐三 | 責任役員 麻生太吉  |
| 責任役員 中村 清之 | 責任役員 吉本 弘次 |
| 責任役員 立石 界  | 責任役員 河野 幸人 |
| 責任役員 立石 界  | 責任役員 立石 清之 |
| 責任役員 河野 幸人 | 責任役員 大森 武吉 |
| 責任役員 大森 武吉 | 責任役員 廣島 萬吉 |
| 責任役員 廣島 萬吉 | 責任役員 宇都宮 弾 |
| 責任役員 宇都宮 弾 | 事務局長 齋藤 悖  |
- |           |           |
|-----------|-----------|
| 宗像大社氏子総代会 | 会長 中村 清之  |
| 副会長 立石 界  | 幹事 河野 幸人  |
| 幹事 大森 武吉  | 副幹事 廣島 萬吉 |
| 監事 黒石 雅宜  | 監事 吉田 寿夫  |
| 監事 吉田 寿夫  | 監事 陽野 十郎  |
| 監事 陽野 十郎  | 事務局長 齋藤 悖 |
- |            |          |
|------------|----------|
| 宗像大社中両宮奉賛会 | 会長 石橋 清寿 |
| 副会長 堤 宏    | 幹事 東 弘   |
| 幹事 高向 正秀   | 幹事 川井田成子 |
| 幹事 深田カツ子   | 幹事 神山万里子 |
| 幹事 末広八千代   | 幹事 辻野 幸子 |
| 幹事 花田 秀美   | 幹事 大森久美子 |
| 幹事 森 郁子    | 幹事 市津 裕子 |

謹んで新年の御祝詞を申し上げます  
昭和五十四年元旦  
宗像大社事務所

- |            |              |
|------------|--------------|
| 名譽役員 久保 輝雄 | 巫 女 河野つたえ    |
| 宮 司 藤津 嘉之  | 北野 重子        |
| 宮 司 宇都宮 悖  | 小野三恵子        |
| 義父 宇都宮 悖   | 柴田 明美        |
| 楠本 正守      | 力丸 洋子        |
| 宗像 清文      | 深田 玲子        |
| 斎藤 博       | 谷川 伊藤        |
| 高藤 勝良      | 渡辺 和夫        |
| 木多 昭和      | 大西 長生        |
| 大野 宗康      | 大西喜三郎        |
| 山田 幸雄      | 松原 欽弥        |
| 神島 定       | 吉武 政次        |
| 松本 肇       | 嶺 千鶴子        |
| 石橋 清寿      | 金子きよ子        |
| 宮崎 正隆      | 吉田タミ子        |
| 堤 宏        | 大西 松枝        |
| 高向 正秀      | 河辺タキノ        |
| 川井田成子      | 廣橋 康子        |
| 深田カツ子      | 黒石 雅宜        |
| 神山万里子      | 黒石 五郎        |
| 末広八千代      | 井上 閉平        |
| 辻野 幸子      | 石井 忠         |
| 花田 秀美      | 藤川 義宜        |
| 大森久美子      | 歌壇講師 竹尾 正子   |
| 森 郁子       | 茶・華道講師 小方 百枝 |
| 市津 裕子      |              |

## 親子の愛情

鳥獸は自然に妙法を知る、生んだ子を育てるは鳥獸の世界にとっても重要なことだが、それは親の自然に知る愛情の露で、決して教を授けるものではない。苦しいの影影形もさるゝとながら、禽獸の如き親子の愛情は、自然に美しさを感ずる場合がある。身近に見る人間界の親子の愛情に、さらに感動的愛情を、愛に惹かれて、わが事のように嬉しさをみつけてくる。

## 残筆しがらみ草紙

玄陽 隠士

この話を綴るの運びの中に、筆者自身が生涯を歩いてきたこと、胸底に納めている記憶が蘇ってきた。これも、しがらみ草紙に記しておきたい。次男は地元大卒卒業後、幸運にも或る流会社の試用試験に合格した。実社会で最初の修練の上、この次男は兄弟四人中では最もは、信州松本であった。筆者は上京の帰途、信州路へ向かい、親の愛情について、人間界の愛情として、人生の最も近しい生活上の血脈として、鳥獸も知る妙法に、自ら感得したものである。



阿蒙少言

交通安全宗像大社の御神徳をたたえ奉りて

# 謹んで新年の御祝詞を申し上げます

1979

<b>福岡日産自動車株式会社</b> 取締役社長 石 金 博 隆 福岡市博多区千代1丁目21番37号 電話 約 41-3161	<b>日産サニー福岡販売株式会社</b> 代表取締役 小田 切 忠 夫 福岡市博多区東光寺深町217番地-1 電話 約 41-4132
<b>福岡日産モーター株式会社</b> 代表取締役社長 伊 藤 隆 治 福岡市博多区東比恵2丁目14-33 電話 約 41-2323	<b>日産サニー北九州販売株式会社</b> 取締役社長 菊 竹 保 平 北九州市八幡西区穴生3丁目10番24号 電話 約 621-2136
<b>日産プリンス福岡販売株式会社</b> 取締役社長 岩 永 政 定 福岡市中央区平尾3丁目5-3 電話 約 531-9561	<b>日産ディーゼル福岡販売株式会社</b> 取締役社長 中 尾 一 郎 福岡市博多区榎田1丁目4番3号 電話 約 41-1831
<b>日産チェリー福岡販売株式会社</b> 代表取締役社長 金 森 清 福岡市博多区東光寺深町224番地 電話 約 41-1123	

—今年も安全運転を心掛けて下さい—

**NISSAN**



年頭所感

青年諸兄に精神復興を訴える

福岡県議会議員 福岡県監査委員 伊豆善也



せ、心より感謝申し上げます。戦後、経済の復興が第一の柱に...

日本の米は宗像から

福岡県議会議員 花田新太郎



史をみると、一貫して国の強、要請のもとに米を中心とした農業...

文化や偏見がはびこり、これが病巣となつて、わが国に連綿と...

年頭の御挨拶

宗像郡町村会長 高橋半三



原の白粉責、玄界灘の岩がむ...

新年のご挨拶

宗像郡町村議会議長 會長 石井九郎



宗像郡の皆様は、お節やかに...

『歴史の一回性の事実』に際して

宗像警察署長 益田信二



新年明けましておめでとうござ...

賀正

玄界灘の景観を一望出来る シーサイドの名門一流コース 西日本開発株式会社 玄海ゴルフクラブ

宗像地区水道事業団は昭和五...

賀正

松尚開株式会社 福岡国際カントリークラブ 西日本最大のチャンピオンコース

